



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月8日

上場会社名 株式会社パイロットコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7846 URL https://www.pilot.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 伊藤 秀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 湖 雅行 (TEL) 03-3538-3700
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	75,712	18.8	14,600	37.2	15,338	43.6	10,570	44.6
2020年12月期第3四半期	63,715	△16.5	10,638	△23.0	10,683	△21.6	7,308	△21.0

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 12,188百万円(101.7%) 2020年12月期第3四半期 6,043百万円(△24.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	267.98	—
2020年12月期第3四半期	185.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	137,490	97,779	70.2
2020年12月期	123,571	87,873	70.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 96,480百万円 2020年12月期 86,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2021年12月期	—	30.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	12.5	17,000	20.2	17,000	18.4	12,000	20.8	304.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期3Q	41,814,400株	2020年12月期	43,814,400株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	2,371,090株	2020年12月期	4,370,913株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期3Q	39,443,386株	2020年12月期3Q	39,443,528株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2021年12月期3Q9,700株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)における経済環境は、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響下にあり、国内ではワクチン接種率の上昇による感染拡大の縮小傾向がみられるものの、大都市圏においては再発令された緊急事態宣言が9月末まで継続する等、経済活動の規制や自粛が続き、社会・経済の低成長が継続しました。海外ではワクチン接種の進む先進国を中心に経済の回復も顕著ですが、反面、未だに感染症再拡大が収まらない国や地域も多く、当事国の経済停滞のみならず、その影響でサプライチェーンが混乱をきたし先進諸国にも影響が及ぶ等、先行きが不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループにおきましては、海外先進国を中心に、総体的に回復傾向となりましたが、日本国内や海外の一部において筆記具需要の回復が未だ進まず、停滞が続く市場も残りました。

この結果、当期間の連結売上高は757億12百万円(前年同期比118.8%)となりました。

国内外別では、国内市場における連結売上高は169億79百万円(前年同期比98.7%)、海外市場における連結売上高は587億32百万円(前年同期比126.3%)となりました。

また、損益につきましては連結営業利益が146億円(前年同期比137.2%)、連結経常利益が153億38百万円(前年同期比143.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は105億70百万円(前年同期比144.6%)となりました。

なお、当社グループにおきましては主力製品のほとんどを日本国内で製造しているため、東南アジア等における一部サプライチェーンの混乱の影響は極めて軽微です。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

(日本セグメント)

国内のステイショナリー用品事業においては、感染症拡大の影響からの回復がみられるものの、都市部での緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、人流の抑制が継続したこともあり厳しい状況が続きました。その中においても今春に発売し、第一弾が好評を得た新ブランド「ILMILY」シリーズの第二弾や、個性あふれる加飾を施した「フリクションデザインシリーズ」等の新製品を発売し、売り場の維持拡大に努めました。

ステイショナリー用品事業の輸出においては、海外連結子会社向けの販売が引き続き好調であったことに加え、外部顧客向けの販売は、東南アジア、中東、南米等各地でコロナ禍の影響は残るものの、徐々に復調の兆しが見えてきました。

玩具事業においては、国内販売で主力商品である「メルちゃん」シリーズの伸長や「おふろのおもちゃ」シリーズの「かえちゃOh!! まほうのカブトムシ&クワガタ」が好調であったことに加え、コレクタブルドール市場への参入となる「ポケットメルちゃん」を新発売する等、積極的な製品展開を始めております。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は210億92百万円(前年同期比100.7%)、セグメント利益は海外子会社向けの出荷の拡大の効果により121億86百万円(前年同期比172.4%)となりました。

なお、当セグメントにおける主要な事業の売上高に関して、ステイショナリー用品事業は175億60百万円(前年同期比98.7%)となり、玩具事業は25億69百万円(前年同期比109.6%)となりました。

(米州セグメント)

米州地域につきましては、米国市場の回復が続き、定番商品の「G-2(ジーツー)」や「フリクション」シリーズの販売が堅調に推移しました。ブラジル市場は依然として厳しい市場環境の中、緩やかな回復基調となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は207億98百万円(前年同期比120.6%)、セグメント利益はブラジルにおける在庫整理の影響を受け8億64百万円(前年同期比91.4%)となりました。

(欧州セグメント)

欧州地域につきましては、各国で感染症拡大防止措置が緩和され、「フリクション」シリーズをはじめとした主力商品が堅調に推移しました。また、環境規制対応商品やその他の付加価値のある製品群の充実等の施策により、引き続きシェアの拡大に努めました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は180億60百万円（前年同期比124.9%）、セグメント利益は19億78百万円（前年同期比167.4%）となりました。

(アジアセグメント)

アジア地域につきましては、中国で「P-500/700」、「ジュース」シリーズ等の販売好調が続く等、各地でコロナ禍からの回復が進みました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は157億60百万円（前年同期比142.3%）、セグメント利益は10億94百万円（前年同期比160.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比139億19百万円増加し、1,374億90百万円となりました。

流動資産は、138億42百万円増加し963億23百万円となり、固定資産は、76百万円増加し411億67百万円となりました。

流動資産につきましては、「現金及び預金」が80億60百万円、「受取手形及び売掛金」が33億87百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比40億13百万円増加し、397億10百万円となりました。

流動負債は、57億94百万円増加し330億23百万円となり、固定負債は、17億80百万円減少し66億86百万円となりました。

流動負債につきましては、「支払手形及び買掛金」が40億6百万円、「未払法人税等」が25億82百万円それぞれ増加した一方で、「1年内返済予定の長期借入金」が10億8百万円減少したことによるものです。固定負債につきましては、「長期借入金」が15億81百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末比99億6百万円増加し、977億79百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益105億70百万円を計上した一方で、22億68百万円の配当を実行したことによるものです。なお、自己株式を91億79百万円消却しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月10日に公表しました連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,313	46,373
受取手形及び売掛金	18,738	22,126
商品及び製品	14,830	15,809
仕掛品	4,559	5,632
原材料及び貯蔵品	2,896	3,308
その他	3,224	3,139
貸倒引当金	△81	△67
流動資産合計	82,480	96,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,328	25,593
減価償却累計額	△13,140	△13,798
建物及び構築物（純額）	12,187	11,795
機械装置及び運搬具	36,071	36,667
減価償却累計額	△29,388	△30,681
機械装置及び運搬具（純額）	6,682	5,985
その他	18,804	18,896
減価償却累計額	△16,511	△16,651
その他（純額）	2,293	2,244
土地	5,238	5,266
建設仮勘定	694	439
有形固定資産合計	27,097	25,731
無形固定資産		
借地権	5,355	5,355
その他	900	967
無形固定資産合計	6,255	6,322
投資その他の資産		
投資有価証券	3,548	3,904
繰延税金資産	1,719	2,557
退職給付に係る資産	1,659	1,886
その他	903	840
貸倒引当金	△93	△75
投資その他の資産合計	7,737	9,113
固定資産合計	41,090	41,167
資産合計	123,571	137,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,690	13,697
短期借入金	4,652	3,732
1年内返済予定の長期借入金	3,166	2,157
未払費用	3,004	3,180
未払法人税等	742	3,325
返品調整引当金	144	134
賞与引当金	699	1,428
役員賞与引当金	50	50
役員株式給付引当金	-	12
固定資産解体費用引当金	-	24
製品不具合対応費用引当金	-	57
その他	5,078	5,221
流動負債合計	27,229	33,023
固定負債		
長期借入金	6,659	5,078
繰延税金負債	71	7
役員退職慰労引当金	127	108
環境対策引当金	30	1
退職給付に係る負債	755	811
負ののれん	119	29
その他	702	648
固定負債合計	8,467	6,686
負債合計	35,697	39,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,340	2,340
資本剰余金	7,914	7,914
利益剰余金	103,577	102,688
自己株式	△20,061	△10,871
株主資本合計	93,771	102,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	367
為替換算調整勘定	△7,306	△6,071
退職給付に係る調整累計額	149	112
その他の包括利益累計額合計	△7,030	△5,592
非支配株主持分	1,133	1,299
純資産合計	87,873	97,779
負債純資産合計	123,571	137,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	63,715	75,712
売上原価	30,121	36,046
売上総利益	33,593	39,665
販売費及び一般管理費	22,954	25,065
営業利益	10,638	14,600
営業外収益		
受取利息	59	51
受取配当金	91	140
負ののれん償却額	89	89
為替差益	-	404
その他	317	207
営業外収益合計	558	892
営業外費用		
支払利息	113	83
売上割引	38	40
為替差損	331	-
その他	29	30
営業外費用合計	513	154
経常利益	10,683	15,338
特別利益		
固定資産売却益	526	9
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	526	9
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	21	8
減損損失	-	9
投資有価証券評価損	416	-
ゴルフ会員権売却損	1	0
固定資産解体費用引当金繰入額	-	24
環境対策引当金繰入額	16	-
製品不具合対応費用	-	63
特別損失合計	461	105
税金等調整前四半期純利益	10,748	15,242
法人税等	3,187	4,565
四半期純利益	7,561	10,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	252	107
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,308	10,570

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	7,561	10,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	246
為替換算調整勘定	△1,633	1,302
退職給付に係る調整額	40	△38
その他の包括利益合計	△1,517	1,510
四半期包括利益	6,043	12,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,823	12,008
非支配株主に係る四半期包括利益	220	179

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、2021年2月26日付で、自己株式2,000,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ9,179百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が102,688百万円、自己株式が10,871百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア (注)1	報告 セグメント 計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	20,943	17,239	14,455	11,077	63,715	—	63,715
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,150	1	9	—	26,161	△26,161	—
計	47,094	17,240	14,464	11,077	89,876	△26,161	63,715
セグメント利益	7,069	945	1,182	682	9,879	758	10,638

(注) 1 「アジア」には、アフリカ、オセアニアを含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア (注)1	報告 セグメント 計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	21,092	20,798	18,060	15,760	75,712	—	75,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,876	1	2	—	33,880	△33,880	—
計	54,968	20,800	18,063	15,760	109,593	△33,880	75,712
セグメント利益	12,186	864	1,978	1,094	16,123	△1,523	14,600

(注) 1 「アジア」には、アフリカ、オセアニアを含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。